



たか はし まさ いち
高橋 政一
(市民クラブ)

●教育再生実行会議に対する見解を問う ●市有林の状況とその活用は

質問

安倍首相は教育再生実行会議（以下、会議という）を開催し、教育改革を推進するとしている。会議が出した「教育委員会制度等のあり方について」

の提言では、教育委員長と教育長の責任の所在が不明確、教育委員会の抜本的改革が必要、市町村単位での人事異動、教育長や教育長候補を特定し研修を行うなど、その内容に問題があると考えが見解を問う。

教育委員長

教育長は事務方で、教育委員長が中心になって教育委員会を主催しており、役割分担はしっかり行われている。教育委員会制度は政治からの中立などさまざまな加味した制度であり、改革は多方面にわたって意見を聞きながら、拙速な進め方は禍根を残す可能性がある。市町村単位での人事異動については、大都市の発想で、岩手県は教育出身者が偏っている、全県交流人事をしている。教

育長候補者を特定しての研修は現実的でない。

育長候補者を特定しての研修は現実的でない。

質問

奥州市の森林面積は市の総面積の59・8%を占めている。奥州市の森林は膨大な森林資源である。市有林の整備状況と市産材の活用状況について伺う。

市長

国県の補助を活用し除間伐を行うとともに、伐採適齢期を超えた事業区については順次立木を売り払っている。市の公共施設について、地元産木材の積極的な利用に取り組んでおり、小学校の校舎や地区センターの新築工事で可能な限り市産材を使用している。



間伐整備された市有林



さとう くに お
佐藤 邦夫
(市民クラブ)

●総合支所と地区センターの役割

質問

基礎自治体の規模、能力を充実し、行財政基盤を強化するとのことで、国は市町村合併を推進してきた。胆江は一つということ、合併を推進してきたが、「合併して何も良いことはない」、「合併しなければよかった」との市民の声が聞こえる。一方「競馬」「水沢病院」、「土地開発公社」の問題解決への取組みは合併効果と考えるが市長の考えは。

合併後の旧5市町村の一体化、合併して良かったと思ってもらえるには、各総合支所が元気になることが必要だと思うが。

市長

合併したことに対する賛否の声はあるが、合併の効果は確実にある。岩手競馬、水沢病院、土地開発公社の問題は合併し財政規模が大きくなり、着実に良い方向に向かっていく。各総合支所は各地区センターを十分に指導し、地区民に不便をかけるような組織づくりをする。

質問

各省庁では補助率100%や50%の事業が多くあり、そ

の多くは公募している。私どもは一昨年500万円あまりの予算を頂き、金ヶ崎を含む産直が協力して津波の被災地に毎月野菜を届ける事業をした。しかし事務の煩雑さや多さから苦勞した。そこで役所が集中的に予算を採り、事務的援助をする部門を設けてはどうか。市内の団体、NPOや各振興会などに事業実施してもらうと地区の活性化や人材育成にもつながると考えるが。

市長

役所内に専門部署を作るかどうかは別にして、各地区振興会が事業を担うという考えは、今後検討してみたい。



「野菜ボランティア」沿岸へ野菜を送っています